

MEDICAL NEWS

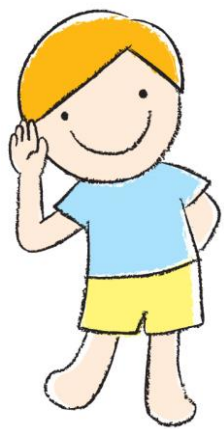
<https://hospital.kikkoman.co.jp>

コロナ禍も3年になりました。第5波といわれる2021年7月～9月のデルタ株では重症肺炎が多く、人工呼吸器を装着される患者が多数ありました。その後のオミクロン株では感染力が強く患者数は非常に多くなりましたが、重症肺炎は激減しました。弱毒化していると言われ、政府は5月8日には2類相当から5類相当に変更する方針です。ただし、ワクチン未接種者ではたまにひどい肺炎の患者がおります。また、高齢者や基礎疾患のある場合には感染を契機に亡くなる方もおりますので、全体の感染者数が増え、死亡状況のため死者数もかなり多い状態となっております。

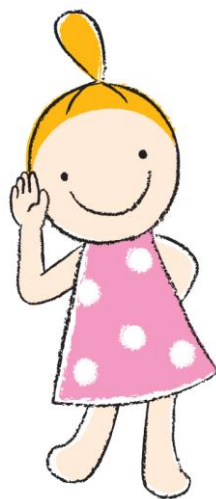
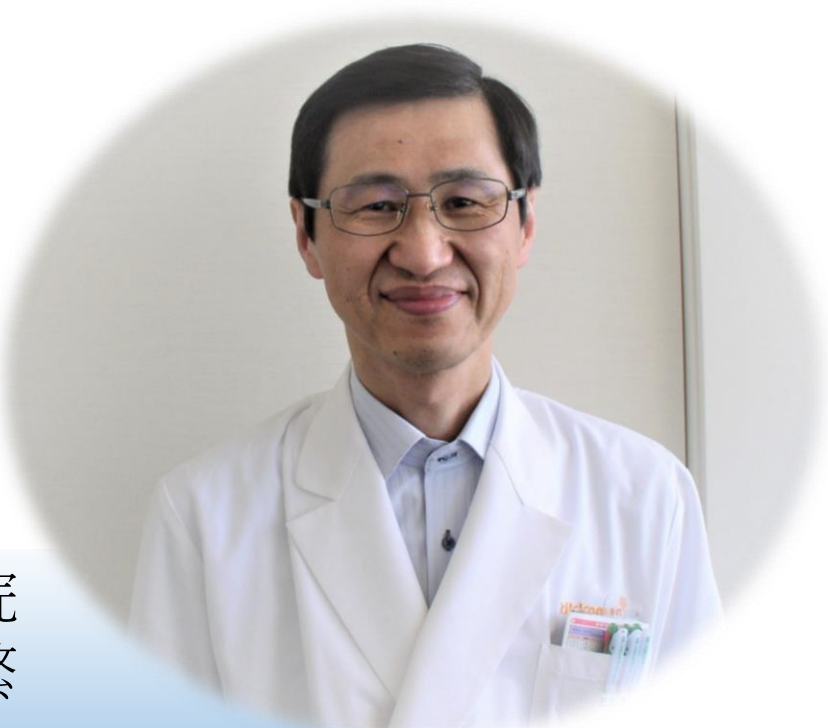
今後は、マスクの装着も個人の判断にゆだねられることになりそうですが、医療機関や高齢者施設においては一般の環境とは異なり感染対策が命に直結することになりますので、申し訳ありませんが引き続きマスクの着用にご協力賜りますようお願い申し上げます。

日本は高齢化社会といわれていますが、野田市は東葛北部5市の中で我孫子市に次いで高齢化率が高い状態です。地域医療に貢献するためには地域の実情に合った診療科の充実を図ることが肝要と考え、4月より東京大学の医局から常勤の泌尿器科医を複数名派遣していただくことになり、手術も含めて充実した診療体制を築くことができました。産婦人科に関しましては再開した分娩は順調に推移しており、また東葛北部地域では施行している病院が少ない婦人科領域の良性疾患（子宮筋腫など）に対する腹腔鏡下手術も症例数が確実に増えてきております。

今後も地域の需要を見据えて診療体制のさらなる充実を図ってまいります。引き続きご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



キッコーマン総合病院
院長 三上 繁



産婦人科からのお知らせ

当院では昨年120人以上の新しい命が誕生いたしました。

当院では病棟の助産師が外来を兼任することで（入院・外来一元化）、情報を共有しながら継続した支援を提供しております。

野田市産後ケア事業にも参画し、助産師による母親の心身の健康管理と生活面の助言・指導などを行い、妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援を目指しております。

安全・安心な分娩を目標に、医師・助産師・看護師・病院スタッフ一同、皆様のご利用をお待ちしております。

*里帰り出産も積極的に受け入れております。詳細（何週から当院で管理を行うか等）につきましてはお気軽にお問い合わせください。

お母さんにインタビュー

Q. 当院を選ばれたきっかけは？

A. 1人目も2人目もキッコーマンで出産したので、コロナ過での出産は顔見知りがいるほうが安心だと思いました。慣れた病院の方が安心なので、産科が再開してよかったです。

Q. 当院を出産して良かったことは？

A. 1人目の時に、夜泣きが続いて精神的に弱っていたところを、助産師さんが親身になって話を聞いてくれました。産後のメンタルが落ち込んでいる時に話を聞いてもらえるのは、とても助けられます。



産科HP
はこちら



婦人科HP
はこちら



		月	火	水	木	金	土	日
産科	午前			藤森	萩野		交代制	—
	午後				永田			—
婦人科	午前	秋津	永田	萩野	宮崎	永田	交代制	—
		萩野	非常勤 医師			非常勤 医師		—
	午後	秋津	永田	萩野	宮崎	秋津	交代制	—
		藤森	萩野 (1か月健診)	藤森		非常勤 医師		—

※2023年4月～（予定）

2023年4月1日より泌尿器科常勤医2名
による病棟診療を開始いたします

泌尿器科 手島 太郎（てしま たろう）

4月1日よりキッコーマン総合病院泌尿器科部長に就任致します、手島太郎と申します。

2010年3月に金沢大学を卒業後、富山県砺波市で初期臨床研修を送り、後期研修から東京大学泌尿器科に入局、都立墨東病院、国立国際医療研究センター病院などの都内の病院の常勤医として研鑽を積み、2019年4月からは東京大学大学院に進学、尿路上皮癌に対する免疫療法に関する研究をしてまいりました。

自分の培った知識を還元することで、わずかばかりでも地域の皆様の健康と幸せに貢献できればと考えております。より良い診療を目指して日々精進してまいりますので、今後ともご指導のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



対応疾患	症状
1)悪性腫瘍	泌尿器科悪性腫瘍全般（腎癌・腎盂癌・膀胱癌・前立腺癌・精巣癌・陰茎癌・後腹膜腫瘍）を扱っています。病状に応じて、手術（経尿道的手術、開腹手術、腹腔鏡手術）、化学療法、免疫療法、分子標的薬を単独あるいは組み合わせて集学的な治療を行ってまいります。手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）も今後導入予定となっております。
2)尿路結石	自然経過にて排石しない症例に関しては、経尿道的尿路結石碎石術による治療を行います。対外衝撃波破碎装置による治療は行っておりません。
3)前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除術ないしはホルニウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）による治療を行います。
4)排尿障害・ 夜間頻尿・ 慢性膀胱炎など	西洋薬に加えて漢方薬治療や運動療法などを併せた複合的な治療を行ってまいります。難治性の排尿障害でお困りの患者様がございましたら、お気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手島		非常勤 医師	牧	手島	非常勤 医師	—
午後	手島	牧	手島	牧	手島	非常勤 医師	—

※2023年4月～（予定）

その肩の痛み 治しませんか？

夜痛い

上がらない

整形外科 池田和大

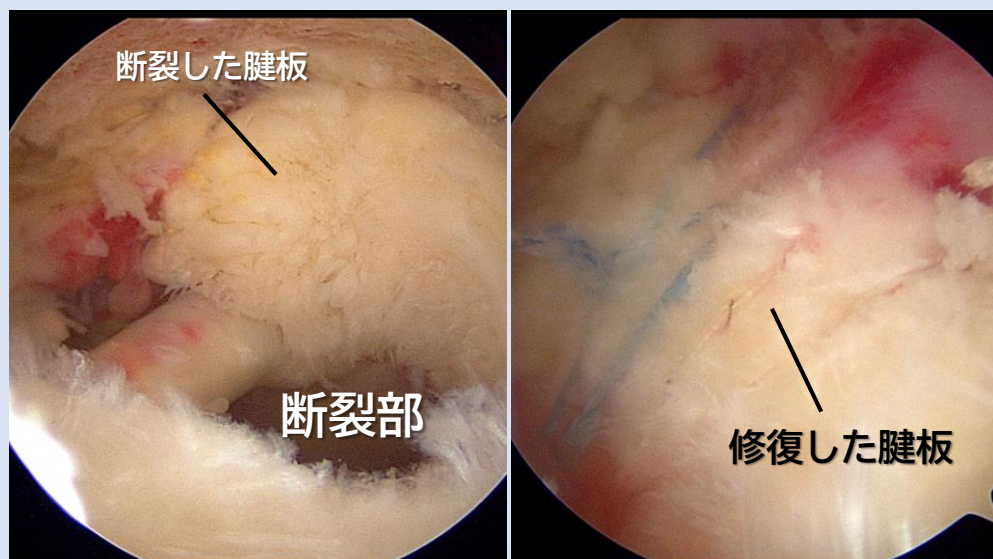
リバーstype人工肩関節全置換術
資格認定医

肩の診療は専門性が高い

肩の痛みは診断や治療が難しい領域の一つです。痛み止めや湿布薬を漫然と処方され、痛みがよくなりず治療をあきらめる患者さんも多く存在します。また、肩の手術は専門性が高いため、実施している医療機関が限られます。

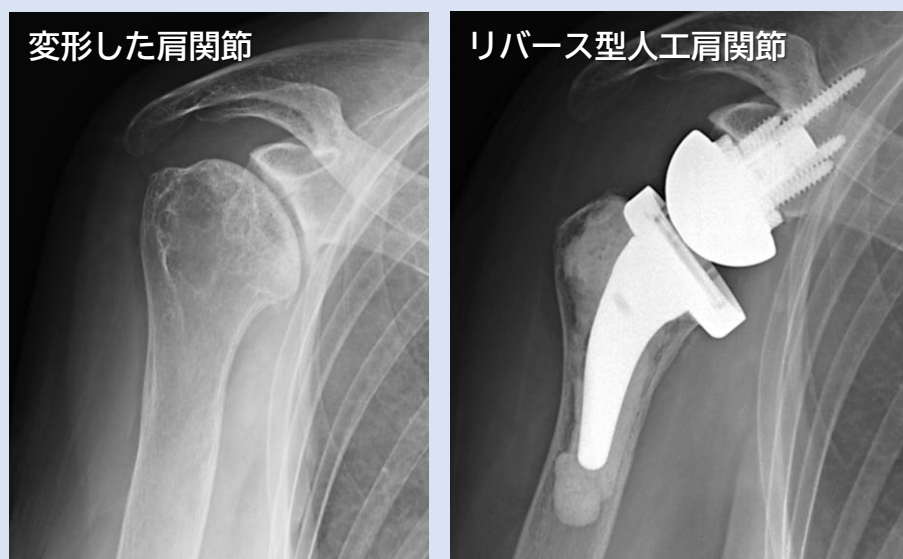
当院では関節鏡視下手術、人工肩関節手術をはじめとしたさまざまな肩の手術を行っております。肩の痛み悩んでいる患者さんに、適切な医療を提供します。

関節鏡視下腱板修復術



腱板と呼ばれる肩のインナーマッスルの断裂（腱板損傷）に対する治療法です。腱板が断裂すると自然には治癒せず、徐々に断裂が拡大するため、頑固な痛みの原因になります。当院では関節鏡を用いて低侵襲に腱板を修復する手術を行っています。

人工肩関節全置換術



腱板損傷を放置すると、関節の変形を来し、肩をあげることができなくなります。そのような患者さんには特殊な人工関節（リバーstype人工肩関節）を用いた手術を行っています。痛みがとれて肩をあげられるようになるため、手術の満足度は高いです。

